

## 小菅集落の歴史を知ろう!

昨年より集落内の建造物の調査を行っていた、信州大学工学部梅干野研究室の学生の研究成果がまとまり、研究成果報告会を開催いたします。

小菅集落の歴史を学ぶ良い機会です。大勢の皆さまのご来場をお待ちしております。

入場無料  
申し込み不要

信州大学工学部建築学科 梅干野研究室による

# 小菅研究の成果報告会

日時 平成 28 年 **9 月 16 日 (金)** 午後 7 時～8 時 30 分

会場 小菅農業生活改善センター

研究発表 1 「馬頭観音堂の移築再建(明治 27 年)の様子からわかる費用の循環」

関本 景香(信州大学大学院 1 年・梅干野研究室)

(要旨)明治 27 年に行われた馬頭観音堂の移築再建の様子を示す史料を読み解き、集落と宗教建築維持の関係を明らかにしました。小菅の集落では、費用、材料、職人や手伝いなどにおいて、宗教建築を集落全体で維持するという仕組みがありました。

研究発表 2 「明治中期の民家の屋敷構えを復元する」

吉田 拓(信州大学 4 年・梅干野研究室)

(要旨)小菅集落がかつてどのような姿であったかを、明治の小菅の様子を示す史料を用いて復元しました。かつて修験の霊場として栄えたという小菅の景観上の特徴に着目すると、参道との関係から特徴的な集落景観を形作っていたことが分かりました。

コメント 梅干野 成央(信州大学工学部建築学科准教授)

質疑応答

今年の「柱松行事」も大勢の観客に見守られながら無事執り行われました。少子高齢化に伴い、祭りの開催も非常に厳しい状況のなか、今年も盛大に開催できたことは地元住民の皆さまの総力結集の賜です。本当にお疲れさまでした。